



宮井斗希くん（3-1）
若年者ものづくり競技大会旋盤職種

敢鬪賞

失敗したところを部分的に練習、ということを繰り返して、実際に力を付けていった。

そんな宮井くんの次の目標は、就職に向けて頑張るそう。就職したいと思っている企業に内定できたらいいなという前向きな言葉と共に、今後大会を目指す人に向けて「一日一個目標を決めて、出来ることをするのが大事」とアドバイスを残した。

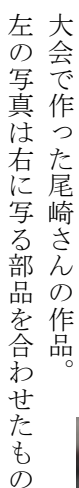
大会結果は本人の望むものではなかったが、その過程で得た力は就職先で役立つだろう。(吉・山)

尾崎彩乃さん (2-1)

近畿大会
準優勝

彼女の今後の目標は、旋盤2級の資格取得、後期での機械・プラント製図合格だそうだ。

大会を目指す人に「頑張つてほしい」とエールを送つた。(吉・山)



野^の田^だめぐみさん(1—5)

滋賀県大会
最優秀賞

ること。今回の大会に出たことで、焦らず落ち着いて滴定することが大事だと気づいた彼女。来年に向けてより良い値が出るように練習に

励み、自分に自信をつけて大会に臨むことを決意した。



辻輝月くん
(2-5)

近畿大会
敢闘賞

を練習していた。
今後の目標は来
年も大会に出場す

ものづくりコンテスト
化学分析部門

← 黙々と作業する辻くん

7月24日、瀬田工業高校で開催された県大会で優秀賞を果たした辻くん。目標の最優秀賞には届かず悔しさが残ったが、県大会を勝ちぬき自身初の近畿大会へ進出。「今まで出られなかったのうれしい」と話した。

8月2日、龍谷大学で『ものづくりコンテスト化学分析部門』近畿大会が行われ、入賞を目標に大会に臨んだ。内容は、硬度の異なる水が3つ準備されており、それぞれ測定し数値化して、レポートとして提出する。ここまでを2時間30分で行わないといけない。八工は残り5分で完了したが他校は作業が速く正確で、残り20分でレポートを終わらせているところもあったそうだ。



結果は敢闘賞と自身も驚くものであった。「今回の経験を生かし友人や周りの人達に教えていけると良いと考えている」と辻くん。

来年の大会の目標は、県大会では最優秀賞、近畿大会では上位3位以内を目指すとのこと。

そのために実戦や本番を想定し、練習を繰り返して数をこなしていきたいと意気込んだ。(藤)

科学研究所 部長さん

辻輝月くん(2-5)

- ①8人/微生物燃料電池に関する実験、天体観測。
- ②大会で賞を取るなど良い成績を残す。部員を増やす。
- ③先輩、後輩の上下関係がなく、気軽に会話している。部員達の趣味のほとんどがゲームなので、入部したら気が合う人がいるかも…
- ④第6回滋賀ジュニアリサーチグラントに応募し、採択されたから。



編集後記

内定もらいました!! (健)
病院の裏側見れた (北)
まだ暑いですね (悠)
朝晩肌寒くなってきた (吉)
バイトくびになった (山)
今津取材で首回りが黒くなった (西)
専任エンジニアになります (岩)
部員に感謝 (蒔)
様々な良き経験をした (藤)



生徒会長 濱頭 空良くん (2-3)

少しでもコロナ前の八工に戻し、良いところは加え、前よりも良い学校生活を送ることができるようにしたい。まだまだ及ばない点もありますが、どうぞよろしくお願いいたします。